#### 2024年度前期事務職員研修

# ステップアップ研修講義要項

### 2024年4月 愛知県弁護士会業務改革委員会

愛知県弁護士会が実施している法律事務所事務職員向けのステップアップ研修について、2024年5月から実施する前期研修カリキュラムに基づいて、講義要項を作成しました。この講義要項では、講義の目的(受講生のみなさまに獲得していただきたいこと)をお知らせするとともに、主な講義項目を羅列していますので、受講申込に際して参考にしていただければと存じます。

なお、講師によっては、この講義項目をさらに充実・発展させる内容であったり、あるいは別の視点からアプローチをされる場合がありますので、必ずしもこの項目どおり進行するということではありませんので、あらかじめご了承下さい。

	講義科目	参考図書
5月	弁護士会照会の活用	• 事件類型別 弁護士会照会
6月	交通事故の実務	
7月	成年後見 〜後見業務・後見監督〜	・法律事務職員応用研修テキスト5 「成年後見」
8月	日弁連が求める事務職員知識度水準 レベルチェック①~日弁連試験解説~	
9月	日弁連が求める事務職員知識度水準 レベルチェック②~日弁連試験解説~	

講義では上記の参考図書を引用することがあります。研修内容の理解向上のため、受講の際は 持参されることをお勧めします。

- ■『事件類型別 弁護士会照会』(愛知県弁護士会 編集)は、弁護士会館1階書店で購入する ことができます。
- ■『法律事務職員 応用研修テキスト5』(日本弁護士補助職協会〈JALAP〉編集)は、現在欠品中であり、今夏改訂版が発行される予定です。

#### ステップアップ研修「弁護士法23条の2照会」(5月)

#### 【講義の目的】

弁護士は受任している事件を処理するために、必要な事実の調査や証拠の発見収集を容易にするために「弁護士会照会」が認められております。この制度は「弁護士会」に与えられた権限であり、個々の弁護士からの照会申出について、弁護士会に設置されている照会調査室が審査をし、弁護士会会長名で照会を行っています。本講では、調査室委員の弁護士を講師に、弁護士会照会の制度を概観した上で、照会手続に関する注意点や照会申出書の作成方法、事案毎の作成例等について解説します。

#### 【主な講義項目】

- 1 弁護士法23条の2による照会制度とは
- 2 愛知県弁護士会における照会手続 照会手続の流れ、弁護士会による照会申出審査、照会先からの回答の取扱い
- 3 照会申出書の作成方法
- 4 作成にあたっての注意事項
- 5 事案毎の作成例 相手方の所在調査、財産調査、交通事故、家事事件、刑事事件など

## ステップアップ研修「交通事故の実務」(6月)

#### 【講義の目的】

交通事故案件は、主に損害保険会社側の代理人となる法律事務所と交通事故の被害者側の代理人となる法律事務所の2つのパターンがありますが、後者が多数と思いますので、これを軸に解説をします。交通事故の賠償実務ではどの段階で行われる手続きであるのかを理解することが重要ですので、まず、事件の一連の流れを解説します。その上で、初動処理やLAC(リーガル・アクセス・センター)、損害保険制度の基礎知識を解説します。

#### 【主な講義項目】

- 1 交通事故事件の流れ
- 2 初動処理(事故証明書の入手、事件記録の謄写申請、受任通知など)
- 3 自賠責保険と任意保険 自賠責保険、任意保険の概要と仕組み、被害者請求の手続方法、任意保険の基 本的構造や人身傷害保険、弁護士費用特約
- 4 交通事故被害者のLACの利用方法
- 5 損害額の算定方法

### ステップアップ研修「成年後見~後見業務・後見監督~」(7月)

#### 【講義の目的】

弁護士に期待される成年後見人等の業務は、単なる財産管理に止まらず、個別課題の対応や監督業務など多岐に及びます。こうした弁護士の役割や求められる期待に十分に応えるためには、きめ細かな補助を担う事務職員の存在が欠かせません。本講では、まず、後見人等の職務を理解した上で、就任直後及び就任中の事務や報告にポイントを置いた講義を行います。また、後見人業務に関する近年の動向や役立つ情報など、講師の経験談を数多く紹介していきます。

#### 【主な講義項目】

- 1 成年後見制度の概観
- 成年後見人等の職務と具体的業務 就任直後の業務、日常業務、定期報告
- 3 後見等の終了終了事由、終了時における基本的業務
- 4 後見等監督
- 5 後見制度支援信託

# ステップアップ研修「日弁連が求める事務職員知識度水準レベルチェック~日弁連試験解説~」(8月・9月)

#### 【講義の目的】

日本弁護士連合会が、「法律事務職員としてこれくらいは備わっていて欲しい知識」 として掲げる事務職員能力認定試験において出題された問題(第15回、全60問)の 解答解説を行います。

試験問題は、民事訴訟、保全、執行、戸籍、登記、家事、破産、刑事、倫理など、様々なジャンルから幅広く出題されていますので、試験問題の解答解説を通じて、法律事務職員として有する実務能力が一定水準レベルにあるかを確認するとともに、法律事務職員として備えておくべき必要な知識を学習します。

今年度は11月16日に試験が予定されていますので(申込期間8月~9月中旬頃)、 受験を考えている方には特に受講をお勧めします。

#### 【主な講義項目】

1 第15回日弁連法律事務職員能力認定試験で出題された問題(全60問)の 解答解説